

巻頭言 ご挨拶

日本教職員バドミントン連盟会長
高橋英夫



私儀、今年度より日本教職員バドミントン連盟の第6代会長に就任することとなりました。2005年より15年間理事長として、皆様方のご支援ご協力のもと恙なく任期を全うすることができましたこと厚く御礼申し上げます。また、昨年度は（公財）日本バドミントン協会、日本スポーツ協会のご推薦により、秋の叙勲で旭日双光章の榮譽に浴することができました。これも長い間、私が会員の皆様方よりの信託を受け、日本教職員バドミントン連盟の代表として24年間の長きにわたり（公財）日本バドミントン協会の理事（事業本部長、国際部長、競技審判部長、普及開発部長歴任）を務めさせていただいた功績が認められたことより拝受したものと皆様方には重ねて衷心より感謝申し上げます。

本年2021年は本連盟が創立60周年（1961年9月30日創設）を迎える節目の年にあたります。前会長の関場武先生の足元にも及びませんが、新理事長の帰山好和先生のサポート役に徹して更なる連盟の発展に寄与できれば幸甚です。更に昨年度はコロナ禍により本連盟の行事が全て中止となりましたが、団体加盟登録は登録料も含めて46都道府県（1県は以前より加盟登録、大会出場なし）全て完了いたしました。このような厳しい時期にも関わらず快くご協力頂きましたことに感謝を通り越し感動を覚えております。本当に有難うございました。

まさに昨年はCOVID19に振り回された1年でした。2020オリンピック・パラリンピックも延期となり、（公財）日本バドミントン協会開催の1種大会も全日本教職員高知県大会も含め全て中止となりました。昨年暮には「バドミントン100問集」の編集責任者として貢献されました本連盟の重鎮で功労者の龍井昇治先生がご他界されました。真に残念です。

私見を申し上げ恐縮ですが、組織というものはそれを支える全員が常に未来志向を持つこと、そして何より今日の難局を鑑みても常に時流を味方に運営していくことが肝要だろうと考えます。協会運営にあたり、私たちには三つの使命があると思います。ここに1本のローソクがあるとしします。今、それに灯をともしと以後ローソクは一瞬一瞬、終始一貫灯をともし続け、周囲を明るく照らすという一つ目の使命を有します。次にどうすればもっと明るい光を皆様に提供できるかを考えるという二つ目の使命があります。更にそのローソクの灯を次の新しいローソクに速やかに繋いでいくという三つ目の使命が発生します。この3つの使命を果たせばそのローソクの灯が絶えることは決してないのです。日本教職員バドミントン連盟の灯を決して絶やしていけない。本年度60周年を迎える伝統ある我が日本教職員バドミントン連盟の歴史を次世代にしっかりと繋いでいく。これが今の時代を生きる私達役員共通の責任、使命だと認識しています。最後に全会員の皆様方の温かいご支援ご協力をお願い申し上げまして、私の会長就任の挨拶とさせていただきます。



関場会長に花束贈呈

目次

- 巻頭言
- 新役員紹介
- 全国各ブロックの活動紹介
- 表紙の人